

〔三〕 長 期 的 観 察 指 導

— 中 等 教 育 段 階 に お け る
学 習 成 績 変 動 の 追 跡 的 研 究 —

第 1 報 学 習 効 率 を 高 め る 学 級 編 成 に つ い て の 一 つ の 試 み

高 須 照 夫 持 田 都 也 加 藤 佳 孝

要 旨 最近の中学より高校への進学率の全国平均は、間もなく80%に達しようとしている。しかしこれらの生徒の総てが、現在の高校の教育課程に堪えうる能力を持っているかどうかは、いささか疑問である。

然しこのような生徒を対象にしても、学習効率を高めるための工夫如何によっては、どの程度までともかくも高校進学を意義あらしめることが可能であるかを追究しようとして、われわれのグループでこの継続研究をとり上げた。今回は、その第1報として、昭和43年度の高校入学者に対して行った特別編成の学級による学習指導の結果を、いろいろの角度より検討したものを報告する。

1. 本校における高校選抜と入学生徒層 について

昭和23年義務教育年限が6ケ年から9ケ年に延長され、その後の3ケ年が高等学校に引きつがれた。高等学校への進学率は年を追って増加し、遂には80%に達しようとしている。従って高等学校進学が生徒の個人的要求であるとはいえ、すべてが高等学校教育を積極的に求めているとは考えられない。また高等学校の課程を十分に修得しうる能力を持っているかも問題である。

しかしながら、敢えてこれらの生徒に、高等学校の教育課程を効率よく、吸収させるにはどうしたらよいかを研究し、最大限に生徒自身の能力を發揮させる方法を考えることは、附属学校としての大きな役割の1つであると思う。そのため本校においては、過去20年の高校選抜の方法が、いかにあるべきかを研究し、おおよそ、現在の入試のあり方に、落ち着いて来たと思う。

附属中学校は、殆んど、抽薦によって、約90名を選び、高校においては、そのうち、90%~80%程度を選抜し、残りの約同数を、外部中学より、能力検査、学力検査、内申により選抜している。従って附属中学出身者の下位群が、外部中学からの入学者にくらべて、入試の時点において、かなりの学力差が見られ、高2高3と教材の高度化にともなって、その学力差が、さらに大きくなる現況である。つまり高1の段階において、とりかえしのつかないほどの学力差を生じ、高2高3の課程では、高度化された、教材を吸収する能力のない生徒がかなりの数、あらわれてきている。例えば、昭和42年度の高校入学者の高2、2学期の中間テストの総点、順位をしらべると、146名中、下位100番から146番までの中に、附属中学出身者は47名中、31名をしめ高2、2学期期末では、145名中、下位100番から145番までの中に46名中、39名の附属中学出身者がしめている。しかも、最下位群は殆んど、附属中学出身者が独占しているとも言える。(第1表)

第 1 表 昭和42年度高校入学者の高2における学力差の情況

高2 中間	順 位	総 点	順 位	総 点	(1番総点798点)			
					高2 中間	順 位	総 点	順 位
	100	527	106	510	(112)	492	118	470
	(101)	524	(107)	507	(113)	475	119	459
	102	523	108	503	(114)	473	(120)	458
	(103)	520	(109)	501	115	472	(121)	451
	104	516	(110)	495	116	471	(122)	430
	105	511	111	494	()	"		

順位	総点	順位	総点
123	427	(129)	411
(124)	424	(130)	409
(")	"	(131)	406
(126)	421	(132)	398
(127)	418	(133)	392
(128)	417	(")	"

順位	総点	順位	総点
(135)	391	(141)	353
(136)	389	(142)	344
(137)	379	(143)	343
(138)	378	(144)	342
(139)	375	(145)	328
(140)	358	(146)	285

(1番総点 781点)

高2 期末	順位	総点	順位	総点
	100	511	112	484
	101	509	113	483
	(102)	506	(114)	478
	(")	"	(115)	468
	(")	"	(116)	464
	(105)	505	117	461
	(106)	497	(118)	458
	107	496	119	456
	(108)	493	(120)	449
	(109)	487	(121)	441
	(110)	485	(122)	440
	(")	"	(")	"

高2 期末	順位	総点	順位	総点
	(124)	435	(136)	361
	(125)	433	(137)	360
	(126)	430	(138)	359
	(127)	422	(139)	334
	(128)	416	(140)	314
	(129)	392	(")	"
	130	389	(142)	311
	(131)	388	(143)	281
	(132)	385	144	277
	(133)	382	145	270
	(134)	380		
	(135)	372		

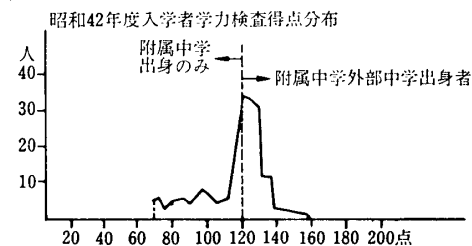
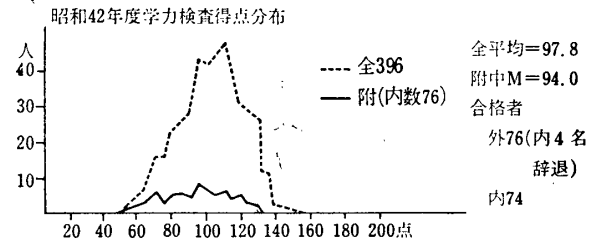
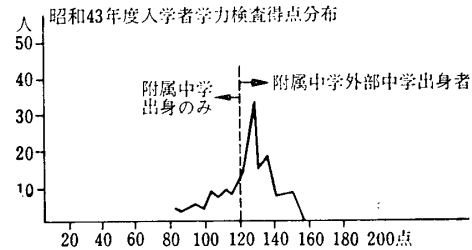
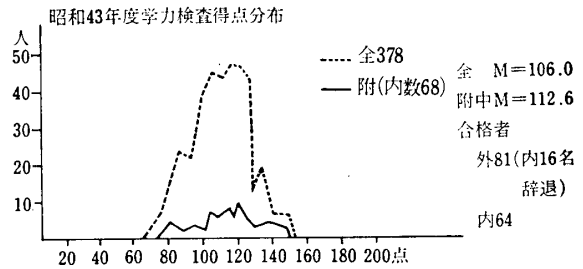
() 内は附属中学出身

2. 学習効率を高めるための学級編成について

前記表よりわかる通り、昭和42年度と昭和43年度の学力検査の結果から得た分布を比較すると、入試の時点における学力差はほとんど変わっていないとは考えられない。入学者の層についても、差は余りみとめられない。そこで昭和42年度入学者のその後における状況については入試の時点における状況と変っていない事は前述の表の通りであった。この様な状況から判断して高1における学習指導がより効率的に行われるようにして、学力差を広げないように、更に、高2高3の学習が適応出来るようにするために、学級編成をどうしたらよいかを検討した。その結果次のような学級編成によって高1の段階における学習の効率を高める方法を決めた。

1. 経 過

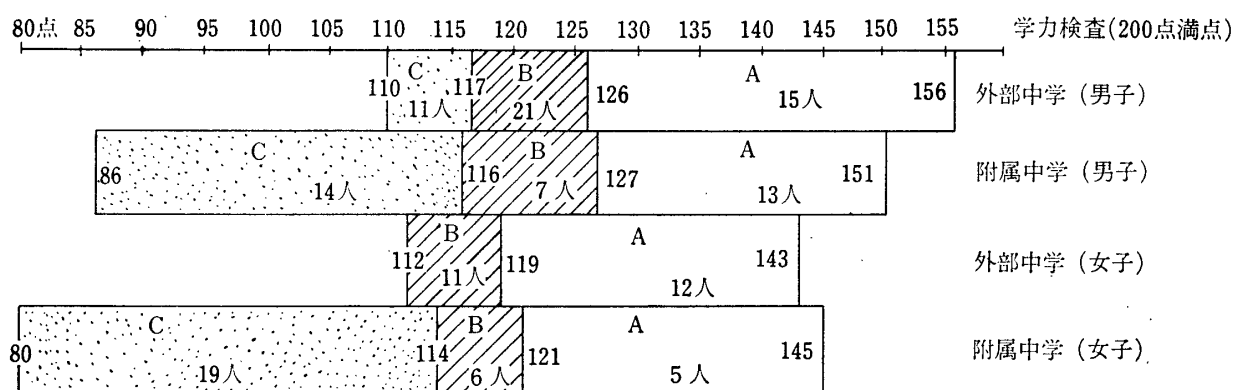
- ① 昭和42年度の指導経験と諸資料を中心にして研究会議でとり上げ、特に年度末の教官会議で昭和43年度、試験的に高1学級編成の実施を検討し、反対者を含めて委員会を組織。
- ② 効率的な学級編成についての委員会で問題点の検討。
- ③ 委員会の報告を中心に、昭和43年度実施可否について討議、賛成26、保留4で実施を決める。
- ④ 新学期早々「高1委員会」として特別委員会を組織し、今後、継続的に会合を重ねることとした。



2. 方法高1学級編成

第2表 昭和43年度 高校入試状況

出身	男女		第1次受験者数	第2次受験者数	合格者数	入学者数
	男	女				
外部中学	男		435	192	55	47
	女		274	118	26	23
	計		709	310	81	70
附属中学	男		35	35	34	34
	女		33	33	30	30
	計		68	68	64	64
総計			777	378	145	134



第3表 高1学級編成人員

出身	上位クラス A			中位クラス B			下位クラス C		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
外部中学出身	15	12	27	21	11	32	11	0	11
附属中学出身	13	5	18	7	6	13	14	19	33
計	28	17	45	28	17	45	25	19	44

3. 実施内容、方法の申合せ事項

- ① 生徒1人1人がそれぞれ最良のそして最上の発達をとげるように、授業を受け易く、勉強しやすいように本年の高1の学級編成を考えた。
- ② 高1が1番学習の効率があがり、かつ学習が基礎的であるから、高1の学習がすべての生徒に、吸収できるように配慮した。従ってこの仮説の上に立って、高1のみこの学級編成で行ない、以後は均質学級にもどす。
- ③ 入学試験の時点での学力で学級編成を考えた。従って、今後の努力によって、成績の変化が起ると考えてよい。
- ④ 教えられる教材も進度もテストも評価も共通である。

- ⑤ 従来の学習方法、学習意欲、学習態度等を改善し潜在している能力を伸していくための機会にしたい。

4. 今後の具体的方策

- ① 月に少なくとも1回、高1委員会を開き、各教科の学習状況、生徒指導上の諸問題を話し合う。
- ② 高1委員会の話し合いをその都度、教官会議に報告し検討する。
- ③ 研究部で、知能検査、クレペリン、YG等の諸テストを実施する。
- ④ 高1の実力テストをやめて課題テストを行う。(課題を与えてテストをする)

4.1 今後に予される反響

- ① 生徒自身の反響

② 保護者の反響

③ 対外的な反響

これらの問題はこの学級編成の実施について当然起りうるものとして、つねに注目しつつ、あくまでも、生徒のために効率のあがる学習が出来ることを第1に考えて、その成果を期待した。高1の学級編成の解体時における、アンケートの結果は次の様であった。

第4表 学習効率を高める学級編成についてのアンケート

1) クラス編成についてのアンケート

1. このクラス編成ははじめは反対であった。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	12	7	13	8	8	11	33	26	59				
中間	2	1	0	0	2	1	4	2	6				
いいえ	13	9	12	8	15	7	40	24	64				

2. このクラス編成は結果的にはよいと思った。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	6	6	2	3	12	11	20	20	40				
中間	6	1	0	0	4	2	10	3	13				
いいえ	15	10	23	13	9	6	47	29	76				

3. 新高1ももし実施するとしたら反対か。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	16	12	13	7	8	10	37	29	56				
中間	3	1	0	0	6	0	9	1	10				
いいえ	8	4	12	9	11	9	31	22	53				

4. 保護者はこのクラス編成について反対であったか。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	1	2	4	2	3	4	8	8	16				
中間	8	2	6	1	11	4	25	7	32				
いいえ	18	13	15	13	11	11	44	37	81				

2) 学習面について

1. このクラス編成でいままでよりもよく勉強したか。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	3	2	0	2	11	7	14	11	25				
中間	2	0	0	0	0	0	2	0	2				
いいえ	22	15	25	14	14	12	61	41	102				

2. このクラス編成でファイトがおきたか。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	6	8	5	2	13	9	24	19	43				
中間	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
いいえ	21	9	20	14	12	10	53	33	86				

3. このクラス編成で君は成果があがったと思うか。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	6	6	3	3	14	6	23	15	38				
中間	3	0	0	0	2	1	5	1	6				
いいえ	18	11	22	13	9	12	49	36	85				

4. 同じ能力のものばかりだったので授業がうけやすかった。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	6	6	9	5	19	14	34	25	59				
中間	2	3	0	0	0	0	2	3	5				
いいえ	19	8	16	11	6	5	41	24	65				

5. 学習態度学習意欲は向上したと思うか。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	5	6	3	1	9	9	17	16	33				
中間	1	0	0	0	0	1	1	1	2				
いいえ	21	11	22	15	16	9	59	35	94				

3) 生活面について

1. 劣等意識(優越意識)をもったか。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	12	8	6	6	15	13	33	27	60				
中間	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
いいえ	15	9	19	10	10	6	44	25	69				

2. 高1の他のクラスの人との交流、話し合いはスムーズにできたか。

	A	男	女	B	男	女	C	男	女	計	男	女	計
はい	21	9	18	10	13	11	52	30	82				
中間	2	0	0	0	0	0	2	0	2				
いいえ	4	8	7	6	12	8	23	22	45				

3. 他のクラス他の学年の人にひきめを感じ恥かしい思いをしたか。

学習効率を高める学級編成についての一つの試み

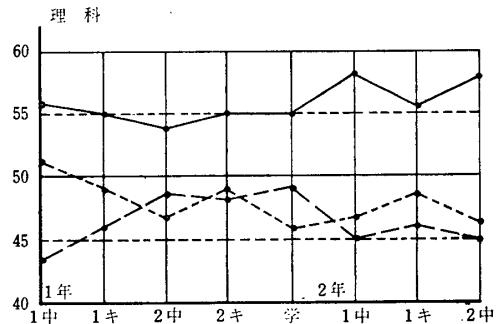
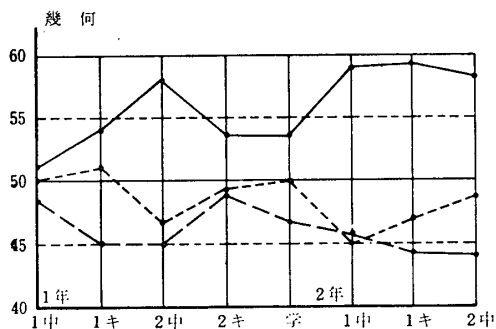
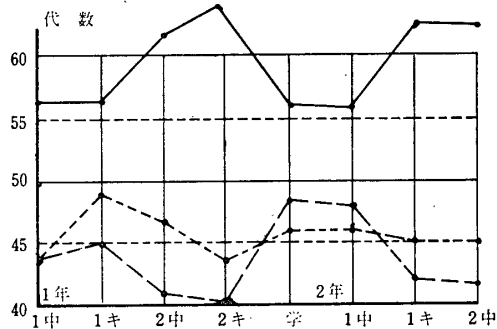
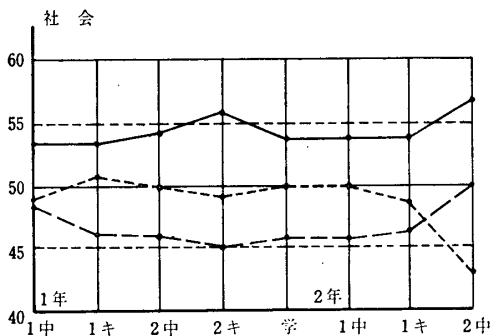
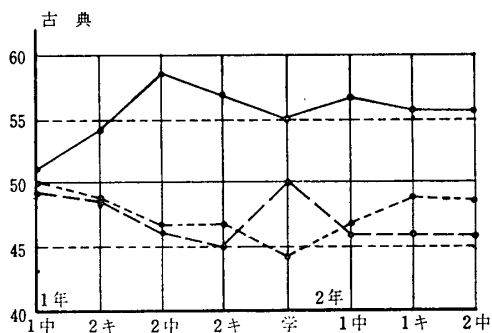
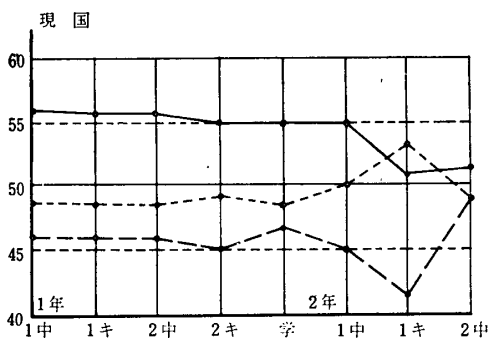
はじめ

	A男女		B男女		C男女		計男女		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
はい	0	2	1	5	12	15	13	22	35
中間	2	0	0	0	0	0	2	0	2
いいえ	25	15	24	11	13	4	62	30	92

現在

	A男女		B男女		C男女		計男女		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
はい	2	1	1	1	2	6	5	8	13
中間	2	0	0	0	0	0	2	0	2
いいえ	23	16	24	15	23	13	70	44	114

昭和43年度 効率を高める学級編成のその後のうごき

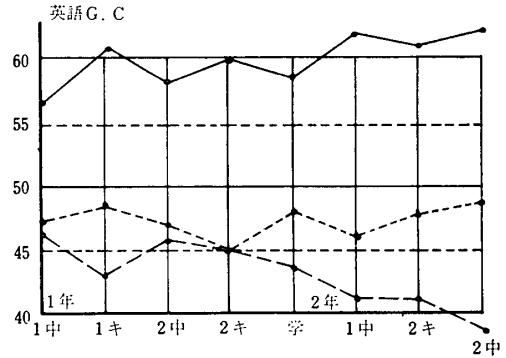
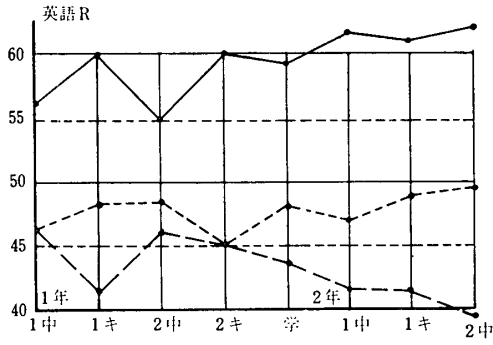


4. 生活面から見てこのクラス編成はどう思うか。

	A男女		B男女		C男女		計男女		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
賛成	2	2	3	4	11	2	16	8	24
中間	8	1	3	0	10	12	21	13	34
反対	17	14	19	12	4	5	40	31	71

5. 学習成果について

高1より高2まで、各教科の偏差値によってA、B、C組の成績の変動をしらべた結果は次の様になった。



(備考) 1中 1学期中間テスト
 1キ 1学期期末テスト
 2中 2学期中間テスト
 2キ 2学期期末テスト
 学 1年学年末テスト

—— A組
 - - - B組
 - · - C組

前の表によって、見られることは、当然のことではあるかもしれないが、英数についてはこの学級編成にもかかわらず、学力差は開いていく傾向にある。この点は予測されたので、自学コーナーを設けて、シンクロナファクスの利用をすすめたが利用度は少なかった。

教育工学的方法によって、基礎学力の充実は考えなければならないと思う。

6. 個人成績の移動情況

入試時点の学力検査結果より上位45名をA組、次の45名をB組、下位44名をC組として編成したとする（実際には多少の違いはあるが大体は同じ）過去8回の定期テストの学年順位で一度も、上位45名のA組を出ないものは、22名で全体の16.4%にあたる。以下は個人成績の移動情況を表にまとめたものである。

第5表 個人成績の移動情況

1度もA組より出ない		1度もB組より出ない		1度もC組より出ない	
22人		3人		14人	
16.4%		2.2%		10.4%	

A, B間を移動している				B, C間を移動している				A, B, C間を移動している			
上昇形	下降形	ジグザグ	計	上昇形	下降形	ジグザグ	計	上昇形	下降形	ジグザグ	計
16	9	16	41	15	13	15	43	1	8	2	11
11.9%	6.7%	11.9%	30.6%	11.2%	9.7%	11.2%	32.1%	0.8%	6.0%	1.5%	8.3%

7. 高2における学力固定化の問題

次の表は高2の1学期中間、期末、2学期中間の3テストを通じての高1学級編成時における、その後の個人成績の移動情況である。これによると、高2の段階では、成績の移動はなく、個人的にも、その位置するクラスの顔ぶれは、殆んど変わっていない。まさに学力が固定化し、この時点でのよりよい学習指導の方法は、一斉指導の場においては考えられない。画期的な学習指導の方法と教科選択にはばをもたせていくより他にないと思う。従って高1におけるこの学級編成が成果が挙げたかの判断は別として、学習指導の効率を高めるには、高1の時点で、考えるべきであるという仮説も、まちがいでないと考えられる。

第6表 高2における効率学級編成の移動情況

	A			B			C		
高1 出発時	45人			45人			44人		
移動クラス	Aより	Bより	Cより	Aより	Bより	Cより	Aより	Bより	Cより
高2, 1学期中間	29人	12人	4人	12人	14人	19人	3人	19人	22人
高2, 1学期期末	28	12	5	14	15	16	4	18	22
高2, 2学期中間	29	11	5	14	16	15	2	18	24

(備考) Aは上位クラス
 Bは中位クラス
 Cは下位クラス

学習効率を高める学級編成についての一つの試み

8. 成績処理と諸テスト

中学校から高等学校へと続いて進学する生徒が半数をしめているので、成績の資料も一貫して、保存し、それを手軽に利用できるような、次のような、ハンドソートカードを作製した。

このカードによって前記の個人成績の移動情況をしらべたが、この中で、1度もA組より出ない生徒、1

度もB組より出ない生徒、1度もC組より出ない生徒、BC組間を移動している生徒、AB組間を移動している生徒、ABC間を移動している生徒、入試時における、AB組間、BC組間の境界線にあった生徒、YG検査、クレペリン検査の様子を列記して見たい。この心理検査についての、結果の判断については、今ここでのべることはさけ、後日の研究によって、考えをのべることにする。

中学校用 (表)

入試1Q	入試2Q	入試3Q	入試4Q	入試5Q	入試6Q	入試7Q	入試8Q	入試9Q	入試10Q	入試11Q	入試12Q	入試13Q	入試14Q	入試15Q	入試16Q	入試17Q	入試18Q	入試19Q	入試20Q	入試21Q	入試22Q	入試23Q	入試24Q	入試25Q	入試26Q	入試27Q	入試28Q	入試29Q	入試30Q
1年1中																													
1年2中																													
2年1中																													
2年2中																													
3年1中																													
3年2中																													
3年3中																													
総合評価																													

高等学校 (裏)

入試1Q	入試2Q	入試3Q	入試4Q	入試5Q	入試6Q	入試7Q	入試8Q	入試9Q	入試10Q	入試11Q	入試12Q	入試13Q	入試14Q	入試15Q	入試16Q	入試17Q	入試18Q	入試19Q	入試20Q	入試21Q	入試22Q	入試23Q	入試24Q	入試25Q	入試26Q	入試27Q	入試28Q	入試29Q	入試30Q
108点	111番	134人中	61	4-3	sh	Y.G.	A'																						
1年1中																													
1年2中																													
2年1中																													
2年2中																													
3年1中																													
3年2中																													
3年3中																													
総合評価																													

備考
実動多く、下向き多い。
点線のところは1年1学期中間より成績の移動がある。
A, B, Cは前記の効率字級の級別。
いは上位クラスに入れる成績。

① 1度もA組より出ない生徒

YG検査	クレペリン検査	YG検査	クレペリン検査	YG検査	クレペリン検査
A	a'f	B'	f(A)	E	(a'f)
A	a'f←f(A)	B	a'f←f(A)	E	a'f←f(A)
A	f(A)	C	(a'f)	E	b'f←f(B)
A''	a'f←f(A)	C	b'f	E'	a'f←f(A)
AB	af	D	(a'f)←(f(A))	E'	a'f→f(A)
AD	b'f	D	a'f←f(A)	E'	(a'f)←(f(A))
B'	a'f	D'	a'f←f(A)		
B'	a'f	D'	(a'f)←(f(A))		

② 1度もA組より出ない生徒

YG検査	クレペリン検査	YG検査	クレペリン検査	YG検査	クレペリン検査
AB	a'f	D	(a'f)	B'	(a'f)←(f(A))

③ 1度もC組より出ない生徒

YG検査	クレペリン検査	YG検査	クレペリン検査	YG検査	クレペリン検査
A	a'f→f(A)	B'	b'f	D	a'f
A''	a'f←f(A)	C	b'f	D'	a'f←f(A)
A''	a'f←f(A)	C'	b'f	E	b'f
AD	b'f~f(B)	D	f(A)		
B	b'f~f(B)	D	a'f		

④ BC組間を移動している生徒

(ア) 上昇型

Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査
A	$a'f-f(A)$	A''	$a'f-f(A)$	D	$a'f \rightarrow f(A)$
A	$a'f \leftarrow f(A)$	A''	$b'f \sim f(B)$	D	$a'f \leftarrow f(A)$
A	$f(A)$	AB	$a'f$	D'	$b'f \sim f(B)$
A	$a'f$	B	$a'f$	E	$a'f$
A	$b'f-f(B)$	B'	$a'f-f(A)$	E'	$(\overline{a'f}) - (\overline{f(A)})$

(イ) 下降型

Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査
A	$a'f-f(A)$	B'	$a'f-f(A)$	E	$a'f$
A''	$b'f$	B'	$a'f$	E'	$a'f$
AB	$a'f-f(A)$	D'	$a'f \sim f(A)$	E'	$b'f \sim f(B)$
AB	$b'f$	D'	$f(A)$		
AB	$b'f$	E	$a'f$		

(ロ) ジグザグ型

Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査
A'	$a'f \leftarrow f(A)$	B	$f(A)$	D	$a'f-f(A)$
A''	$b'f \sim f(B)$	B'	$a'f$	AD	$a'f$
AB	$b'f$	C	$b'f$	E	$a'f \leftarrow f(A)$
AC	$a'f-f(A)$	C	$b'f \sim f(B)$	E'	$a'f$
AC	$f'a-f(A)$	C	$a'f \leftarrow f(A)$	E'	$f(B)$

⑤ AB組間を移動している生徒

(ア) 上昇型

Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査
A'	$(\overline{a'f}) \leftarrow f(A)$	B	$a'f$	E	$a'f \rightarrow f(A)$
A''	$a'f$	D	$a'f \leftarrow f(A)$	E	$a'f-f(A)$
AC	$a'f$	D'	$a'f$	E'	$(\overline{a'f}) - (\overline{f(A)})$
AD	$a'f \leftarrow f(A)$	D'	$a'f-f(A)$	E'	$a'f-f(A)$
AE	$a'f-f(A)$	D'	$a'f \leftarrow f(A)$		
AE	$a'f$	D'	$a'f$		

(イ) 下降型

Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査
AB	$a'f$	AE	$a'f \leftarrow f(A)$	C'	$a'f \sim f(A)$
AD	$a'f \leftarrow f(A)$	B	$a'f \sim f(A)$	D'	$a'f-f(A)$
AD	$a'f-f(A)$	B	$b'f \sim f(B)$	E'	$a'f$

学習効率を高める学級編成についての一つの試み

(ウ) ジグザグ型

Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査
A	$a'f-f(A)$	AC	$a'f-f(A)$	D	$a'f$
A''	$b'f$	AC	$a'f$	D'	$a'f$
A''	$a'f$	AD	$a'f$	E'	$a'f \leftarrow f(A)$
A''	$a'f \leftarrow f(A)$	C	$b'f \sim f(B)$	E'	$a'f-f(A)$
AB	$a'f-f(A)$	C	$a'f \sim f(A)$		
AB	$a'f$	D	$a'f$		

⑥ ABC組間を移動している生徒 (変動の大きい生徒)

(ウ) 上昇型

Y G 検査	クレペリン検査
AC	$a'f$

(イ) 下降型

Y G 検査	クレペリン検査	Y G 検査	クレペリン検査
A'	$a'f$	C	$(\overline{a'f})$
AC	$a'f$	D'	$a'f-f(A)$
B	$a'f-f(A)$	D'	$a'f \rightarrow f(A)$
B'	$(\overline{a'f}) \leftarrow f(A)$	E'	$a'f-f(A)$

(ウ) ジグザグ型

Y G 検査	クレペリン検査
C	$a'f$
D'	$a'f$

⑦ 入学時の学級編成時AB組BC組の境界線にあつた生徒のその後の情況と諸検査

(ウ) ABの境界線にあつてAに入ったもの

入試	127点	32番 / 134人中	クレペリン	$a'f$	Y G	A
男				席次平均 11		
1年1中			-50 -40 -30 -20 -10	A	+10 +20 +30 +40 +50	
1期				A		
2中				-A		
2期				-A		
学年				A		
2年1中				-A		
1期				-A		
2中				-A		
2期						

入試	127点	32番 / 134人中	クレペリン	$a'f \leftarrow f(A)$	Y G	AD
男(附中)				席次平均 21		
1年1中			-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50	A
1期						A
2中				A		
2期						A
学年				B		
2年1中						A
1期						A
2中						A
2期						

入試	127点	32番 / 134人中	クレペリン	$a'f \leftarrow f(A)$	Y G	E'
男				席次平均 44		
1年1中			-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50	A
1期						A
2中				B		
2期						A
学年				-B		
2年1中						A
1期						A
2中				B		
2期						

入試	127点	32番 / 134人中	クレペリン	$a'f-f(A)$	Y G	D'
男				席次平均 74		
1年1中			-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50	B
1期						A
2中				B		
2期						B
学年				-B		
2年1中						B
1期				C		
2中						-B
2期						

入試	126点	37番 134人中	クリ レベ ン	a'f	Y G	AE
男		席次平均		76		
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50			
1期	C					
2中			B			
2期	C					
学 年			B			
2年1中			B			
1期			B			
2中			A			
2期						

入試	119点	64番 134人中	クリ レベ ン	a'f	Y G	AC
女		席次平均		51		
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50			
1期			B			
2中			B			
2期			B			
学 年			B			
2年1中			A			
1期			A			
2中			A			
2期						

入試	120点	57番 134人中	クリ レベ ン	a'f	Y G	A''
女		席次平均		54		
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50			
1期			B			
2中			B			
2期			B			
学 年			B			
2年1中			A			
1期			B			
2中			B			
2期						

(イ) ABの境界線にあってBに入ったもの

入試	126点	37番 134人中	クリ レベ ン	b'f~f(B)	Y G	E
男		席次平均		24		
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50			
1期			A			
2中			A			
2期			A			
学 年			A			
2年1中			A			
1期			A			
2中			A			
2期						

入試	127点	32番 134人中	クリ レベ ン	a'f D'	Y G	
男(附中)		席次平均		44		
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50			
1期			B			
2中			A			
2期			A			
学 年			A			
2年1中			B			
1期			B			
2中			A			
2期						

入試	126点	37番 134人中	クリ レベ ン	a'f ← f(A)	Y G	A'
男		席次平均		44		
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50			
1期			B			
2中			A			
2期			B			
学 年			B			
2年1中			A			
1期			A			
2中			A			
2期						

入試	126点	37番 134人中	クリ レベ ン	a'f ← f(A)	Y G	AE
男		席次平均		48		
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		+10 +20 +30 +40 +50			
1期			B			
2中			B			
2期			B			
学 年			A			
2年1中			B			
1期			A			
2中			A			
2期						

学習効率を高める学級編成についての一つの試み

入試	118点	70番 / 134人中	ク レ リ ン	a'f-f(A)	Y G	A E
女	席次平均 35					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	+10 +20 +30 +40 +50		A		
1期				A		
2中				A		
2期				A		
学 年				A		
2年1中				A		
1期				B		
2中				B		
2期						

入試	118点	70番 / 134人中	ク レ リ ン	a'f	Y G	D
女	席次平均 76					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	+10 +20 +30 +40 +50		B		
1期				B		
2中				B		
2期				B		
学 年				B		
2年1中				B		
1期				B		
2中				B		
2期						

入試	118点	70番 / 134人中	ク レ リ ン	a'f-f(A)	Y G	E'
女	席次平均 88					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	+10 +20 +30 +40 +50		A		
1期				C		
2中				B		
2期				C		
学 年				C		
2年1中				C		
1期				C		
2中				C		
2期						

入試	119点	64番 / 134人中	ク レ リ ン	a'f-f(A)	Y G	A
女	席次平均 89					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	+10 +20 +30 +40 +50		B		
1期				B		
2中				B		
2期				C		
学 年				B		
2年1中				B		
1期				C		
2中				C		
2期						

入試	119点	64番 / 134人中	ク レ リ ン	a'f	Y G	A D
女(附中)	席次平均 102					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	+10 +20 +30 +40 +50		B		
1期				C		
2中				C		
2期				C		
学 年				C		
2年1中				C		
1期				C		
2中				B		
2期						

入試	118点	70番 / 134人中	ク レ リ ン	f(A)	Y G	D'
女	席次平均 109					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	+10 +20 +30 +40 +50		C		
1期				B		
2中				B		
2期				C		
学 年				C		
2年1中				C		
1期				C		
2中				C		
2期						

(ウ) BCの境界線にあってBに入ったもの

入試	118点	70番 / 134人中	ク レ リ ン	a'f	Y G	A B
男(附中)	席次平均 11					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	+10 +20 +30 +40 +50		A		
1期				A		
2中				A		
2期				A		
学 年				A		
2年1中				A		
1期				A		
2中				A		
2期						

入試	118点	70番 / 134人中	ク レ リ ン	a'f	Y G	D
男	席次平均 53					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	+10 +20 +30 +40 +50		B		
1期				B		
2中				B		
2期				A		
学 年				A		
2年1中				B		
1期				A		
2中				B		
2期						

入試	117点	81番 134人中	クリ レベ ン	a'f	Y G	B	
男	席次平均		58				
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	B					+10 +20 +30 +40 +50
1期	-B						
2中	B						
2期						A	
学 年	-B						
2年1中	B						
1期	-B						
2中	-B						
2期							

入試	116点	87番 134人中	クリ レベ ン	a'f~f(A)	Y G	D'	
男(附中)	席次平均		112				
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10						+10 +20 +30 +40 +50
1期	C					B	
2中	C						
2期	C						
学 年	-C						
2年1中	C						
1期	C						
2中	C						
2期							

入試	118点	70番 134人中	クリ レベ ン	b'f	Y G	C	
男	席次平均		113				
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	-C					+10 +20 +30 +40 +50
1期	-C						
2中	C						
2期	-C						
学 年	C						
2年1中	C						
1期	C						
2中						B	
2期							

入試	118点	70番 134人中	クリ レベ ン	f(A)	Y G	D	
男	席次平均		127				
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	C					+10 +20 +30 +40 +50
1期	C						
2中	-C						
2期	C						
学 年	C						
2年1中						C	
1期	C						
2中	-C						
2期							

入試	115点	90番 134人中	クリ レベ ン	a'f	Y G	E'	
女(附中)	席次平均		77				
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	B					+10 +20 +30 +40 +50
1期	-B						
2中	C						
2期	-B						
学 年	-B						
2年1中	C						
1期	C						
2中	-B						
2期							

入試	115点	90番 134人中	クリ レベ ン	a'f	Y G	B	
女(附中)	席次平均		98				
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	C					+10 +20 +30 +40 +50
1期	C						
2中	C						
2期	C						
学 年	-B						
2年1中	C						
1期						B	
2中						B	
2期							

入試	113点	97番 134人中	クリ レベ ン	f(B)	Y G	E'	
女	席次平均		111				
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	C					+10 +20 +30 +40 +50
1期	-B						
2中	C						
2期	-C						
学 年	欠						
2年1中	C						
1期	C						
2中	C						
2期							

入試	112点	101番 134人中	クリ レベ ン	a'f	Y G	B'	
女	席次平均		116				
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10	B					+10 +20 +30 +40 +50
1期	C						
2中	C						
2期	-C						
学 年	C						
2年1中	C						
1期	-C						
2中	C						
2期							

学習効率を高める学級編成についての一つの試み

(㊦) BCの境界線にあってCに入ったもの

入試	117点	81番 / 134人中	クリレン	a'f←f(A)	YG	AD
男	席次平均 77					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		C			
1期			C			
2中				B		
2期				B		
学年				B		
2年1中					A	
1期					B	
2中					B	
2期						

入試	118点	70番 / 134人中	クリレン	a'f	YG	C
男(附中)	席次平均 78					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		C			
1期			C			
2中					B	
2期					B	
学年				B		
2年1中						A
1期				C		
2中						欠
2期						

入試	117点	81番 / 134人中	クリレン	f(A)	YG	A
男	席次平均 94					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		C			
1期			C			
2中			C			
2期					B	
学年					B	
2年1中					B	
1期					C	
2中					B	
2期						

入試	117点	81番 / 134人中	クリレン	a'f←f(A)	YG	AB
男	席次平均 106					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		C			
1期					C	
2中			C			
2期					C	
学年						B
2年1中					C	
1期					C	
2中					C	
2期						

入試	114点	94番 / 134人中	クリレン	a'f	YG	E'
女(附中)	席次平均 89					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10		C			
1期			C			
2中					B	
2期			C			
学年					B	
2年1中					B	
1期					B	
2中			C			
2期						

入試	111点	101番 / 134人中	クリレン	b'f~f(B)	YG	E'
女(附中)	席次平均 94					
1年1中	-50 -40 -30 -20 -10					B
1期						B
2中						B
2期						B
学年						B
2年1中			C			
1期			C			
2中			C			
2期						

以上によって、この学級編成とその後の様子をいろいろの方向から資料の整理を行って見たが、高2の中間テストの結果から、134人中、100番より134番までの下位群にある附属中出身者の数は、35人中19人で、昭和42年度、入学者の場合よりは、少なくなっている

ことがはっきりわかる。しかし、これによって成果が挙げたと速断することはさけない。今後更に追跡的に調査しながら、何かプラスになることが発見出来れば幸いであると思う。ついでに、入試の学力テストとその後の学習成績の相関をのせておく。

第7表

高 1 1 学 期 中 間

		40~45	45~50	50~55	55~60	60~65	65~70	70~75	75~80	80~85	相関係数 0.53
入 試 の 成 績	80 ~ 89	2	1			1					
	90 ~ 99	2	2	3	1		1				
	100 ~ 109			5	1	7		1	1		
	110 ~ 119	3	4	10	11	13	2				
	120 ~ 129	1	2	4	10	7	6	1	2		
	130 ~ 139		1		4	5	3	3	3	1	
	140 ~ 149					2		2	2		
	150 ~ 159						1		2		

第8表

高 2 2 学 期 中 間

		25 ~30	30 ~35	35 ~40	40 ~45	45 ~50	50 ~55	55 ~60	60 ~65	65 ~70	70 ~75	75 ~80	相関係数 0.54
入 試 の 成 績	80~ 89			1	1	2							
	90~ 99	1			3	3	1			1			
	100~109			2	3	2	3	3	1				
	110~119		2	2	8	9	8	7	4	2	1		
	120~129		1	1	4	3	6	5	5	7	1		
	130~139					3	2	2	6	3	3	1	
	140~149								4	1		1	
	150~159								1		1	1	